

2025年10月31日

組合員・利用者本位の業務運営に関する取組状況および K P I 実績値の公表について

ＪＡグループは食と農を基軸として地域に根差した協同組合として、助け合いの精神のもとに、持続可能な農業と豊かで暮らしやすい地域社会の実現を理念として掲げています。

当組合では、この理念のもと、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を公表するとともに、組合員・利用者の皆様の安定的な資産形成を実践しており、今回その取組状況を公表いたします。

また、上記とあわせ金融庁より各金融機関に対し公表が期待される「お客様本位の良質な金融商品・サービスを提供する金融事業者をお客さまが選ぶうえで比較することのできる統一的な指標」（「比較可能な共通 K P I」）も同時に公表いたします。

（注）共済事業は、当組合と全国共済農業協同組合連合会（ＪＡ共済連）が、共同で事業運営しております。

県央愛川農業協同組合

I.取組状況

1 お客さまへの最適な金融商品および共済仕組み・サービスの提供

(1) 信用の事業活動

【原則2本文および(注)、原則3(注) 原則6本文および(注2、3、6、7) 補充原則1～5本文および(注)】

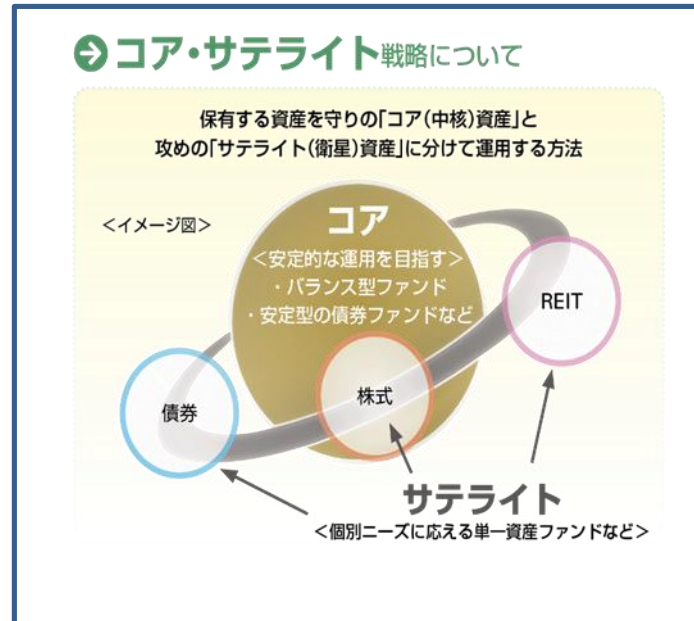
- 特定の投資運用会社に偏ることなく、社会情勢や手数料の水準等も踏まえたうえで、お客さまの多様なニーズにお応えし、適合性チェックシートを活用して、長期安定的な資産形成・運用に資する最適な投資信託を取り扱っております。なお、当組合は、金融商品の組成に携わっておりません。
- JAバンク全体では商品新規導入を行う際は、第三者評価機関からの意見を伺いながら、お客様のニーズに合った商品を取入れ、パフォーマンスが芳しくない場合は取扱いを行わない等、定期的な商品ラインアップの見直しを行っております。それにより以下のように商品数が増減いたします
- なお、組合員・利用者の皆さまの最善の利益の実現につながる取組として、2025年度以降、金融商品を組成する投資運用会社との情報連携を開始予定です。

<投資信託の取扱い商品ラインナップ(2025年3月末時点)>

カテゴリ	国内	海外
債券型	1 (前年度末：1)	6 (前年度末：6)
株式型	3 (前年度末：3)	6 (前年度末：6)
REIT型	2 (前年度末：2)	2 (前年度末：2)
バランス型	7 (前年度末：7)	

※ 現在、新規でお申込みいただけないファンドも含まれておりますが、公社債投信は含んでおりません。

<商品選定の考え方>



I.取組状況

1 お客様への最適な金融商品および共済仕組み・サービスの提供

(2) 共済仕組み・サービス

【原則2本文および(注)、原則3(注)、
原則6本文および(注2、3、6、7)、補充原則1～5本文および(注)】

- ・当組合は、組合員および地域により一層必要とされる信用・共済事業の運営の実践を通じて、最良・最適な共済仕組み・サービスを提供しております。
- ・住宅価格の高騰により連帯債務の住宅ローン利用者が増加したことを受けて、団体信用生命共済において従来よりも手厚い保障が可能となる連生タイプの取扱を新たに開始しております。
- ・市場リスクを有する共済仕組みの提供は実施しておりません。
- ・共済仕組み・サービスの提案にあたっては、3Q活動やあんしんチェックを通じてお客さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。なお、総合満足度は令和6年度末時点で89.5%となっており、高水準を維持しております。
- ・なお、共済事業については、全共連と共同で事業運営を実施しており、お客さまの声や実際に販売した顧客情報等について相互に連携しております。

〈Webマイページ・JA共済アプリ〉

令和7年3月末現在

Webマイページ 登録人数(人)	JA共済アプリ 登録人数(人)
536	263

令和7年3月末現在

共済種類	契約件数(件)
生命総合共済	➤ 1 6
建物更生共済	➤ 4 3
自動車共済	➤ 4 1 1

I.取組状況

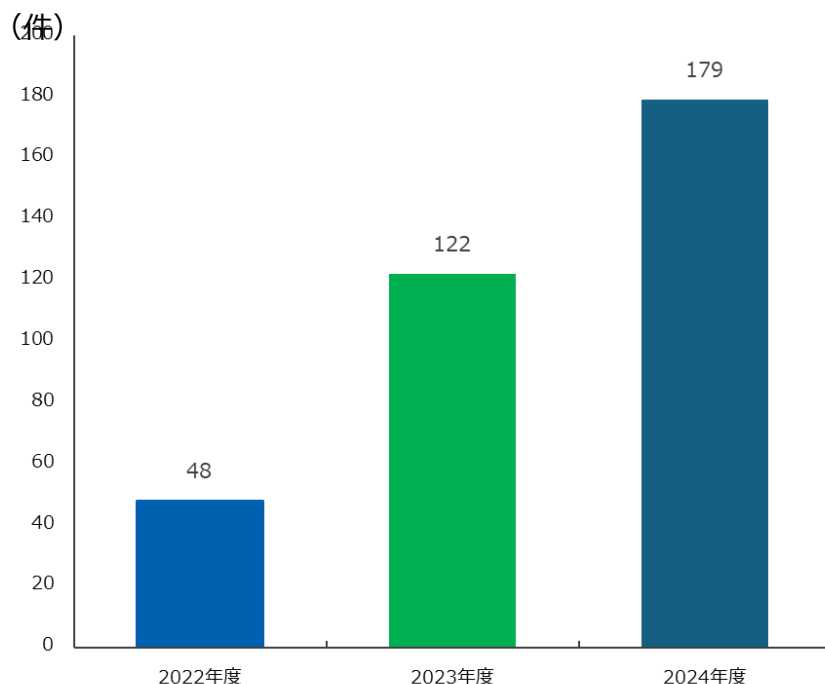
2 お客さま本位のご提案と情報提供

(1) 信用の事業活動

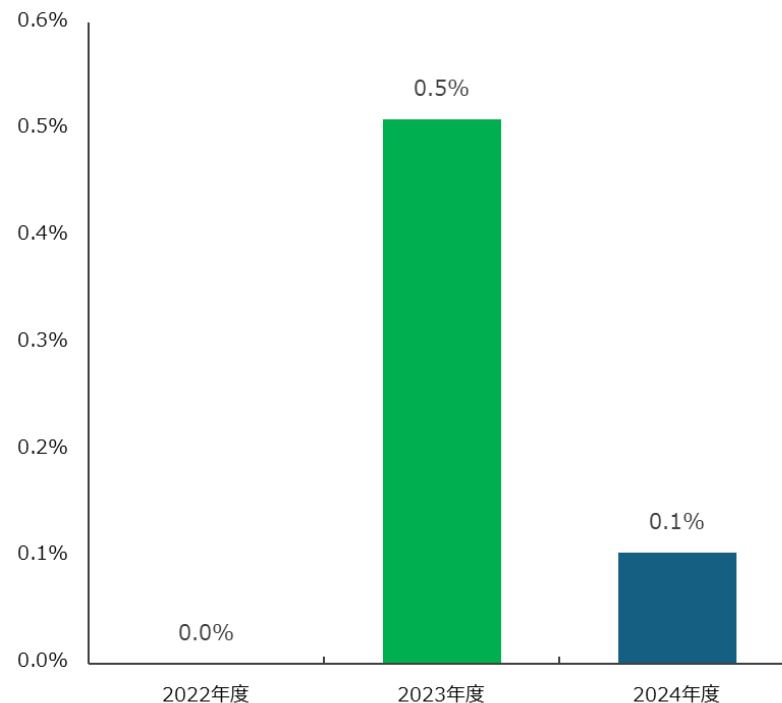
【原則2本文および(注)、原則5本文および(注1～5)、
原則6本文および(注1～7)】

- 組合員・利用者の皆様に安定的な運用成果をご享受いただくために、組合員・利用者の金融知識・経験・財産、ニーズや目的に合わせて適切な情報提供を行うとともに、分散投資・長期投資の有用性をご提案した結果、「投信つみたて」を利用される組合員等が増加し、「毎月分配型ファンド」を選択される組合員等の比率が低下いたしました。

<投信つみたて契約件数の推移>



<購入額に占める毎月分配型ファンドの比率>



I. 取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供

(1) 信用の事業活動

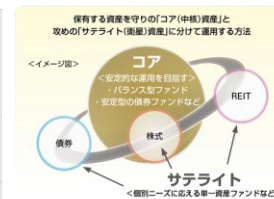
【原則4、原則5本文および（注1～5）、原則6本文および（注1～7）】

- 組合員・利用者の皆様の投資判断に資するよう、商品のリスク特性・手数料等の重要な事項について分かりやすくご説明し、必要な情報を十分にご提供するために、J Aバンクセレクトファンドマップ、J Aバンクファンドマップ等を活用のうえ簡潔かつ分かりやすい情報提供を実施しました。
- なお、2022年4月から重要情報シートを導入しております。

JAバンク ファンドマップ



② コア・サテライト戦略について



③ 投資対象のリスクとリターンに関するイメージ



※上記は一般的なイメージであり、市場動向によっては大きく異なる可能性があります。あくまで、将来の運用成果を表すものではありません。

④ リスクと投資カテゴリーイメージ

	安定型	中間型	積極型
リスク	小		大
商品イメージ	国内債券 海外債券 (為替ヘッジあり)	海外債券 (為替ヘッジなし)	国内株式 海外株式 国内REIT 海外REIT

※各ファンドのカテゴリーは、投資の参考となる情報を提供することを目指し、リスク・リターンの目安として「商品」の属性を基に示されています。あくまで、将来の運用成果を表すものではありません。

※「リスク」は、商品価格の変動（値動き）のリスクの有無を基に判断しています。商品価格の変動は、市場動向によって大きく異なる可能性があります。あくまで、将来の運用成果を表すものではありません。

「投資信託説明書（交付目録表）」をご覧ください。

2 お客さま本位のご提案と情報提供 (2) 共済の事業活動

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1・2・4・5)】

① 共済仕組み・サービスのご提案

- 共済仕組み・サービスの提案にあたっては、様々なリスクに対する備えや、ニーズにお応えすることを通じて組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向を適切に把握しております。
- 組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に基づき、属性適合性の判断により、最良・最適な共済仕組み・サービスを提案しております。
- ニーズに合致したと思われる共済仕組み・サービスについては、重要事項説明（契約概要・注意喚起）を実施し、特にご確認いただきたい事項や不利益情報を分かりやすくご説明しております。

② 情報提供

- 安心・便利にご利用いただけるサービスの充実、お客様にふさわしい商品・サービスの提供に基づき、情報提供を実施しております。
- 情報提供にあたっては、面談による対話で寄り添うご提案を大切にするなどにより、分かりやすく説明しております。

I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供

(2) 共済の事業活動

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1・2・4・5)】

<加入内容説明(3Qマップ)>

<ご提案時の保障設計書>

<重要事項説明書>

I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供 (2) 共済の事業活動

【原則2本文および(注)、原則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1・2・4・5)】

③ 契約締結時の対応

- お客さまの意向を把握・確認したうえで、十分に保障内容をご理解できるように重要事項説明を通じてご提案した共済仕組み・サービスが組合員・利用者の皆さま一人ひとりのご意向に沿ったものであるか確認しております。

④ 高齢者対応

- ご高齢の組合員・利用者の方については、ご家族も含め十分ご納得、ご満足いただけるよう、提案説明時、契約締結時にはご親族の同席などによりきめ細やかな対応を行っております。
- 高齢者対応における親族等の同席の割合は、令和6年度は66.7%となりました。
- 当組合では、契約締結時に意向確認書と通じて、組合員・利用者の皆さまのご意向の把握、ご提案した共済の仕組・サービス等がご意向に沿ったものであるかを確認しております。なお、令和7年度から新たに「共済契約のお手続きに関するご案内」をお渡しし、ご契約者さま・被共済者さまだけでなく、ご親族の方にもご安心いただけるよう努めております。

ご高齢の方への対応

(令和7年3月末現在)

親族等の同席の実施数(件)	親族等の同席の割合(%)
196	66.7



I.取組状況

2 お客さま本位のご提案と情報提供 (2) 共済の事業活動

【原原則2本文および(注)、則4、原則5本文および(注1～5)、原則6本文および(注1・2・4・5)】

⑤ 各種手続きとアフターフォローの実施

- 各種手続きの実施にあたっては、組合員・利用者の皆さまに分かりやすくご説明しております。
- 将来、ご自身によるお手続きが困難になった場合の備えとして、「指定代理請求人」にご家族を指定いただくことをご案内しております（生命総合共済の場合）。
- 令和5年度からは支払い請求手続きの簡素化を推し進めるなど、組合員・利用者の皆さまの利便性向上に向けて取り組んでおります。
- ご加入後も、共済金の請求忘れがないか等の確認を行う（3Q活動）、加入内容確認を行う（あんしんチェック）の実施や日頃より分かりやすい説明を心掛けることをするなど組合員・利用者の皆さまに寄り添った取組みを実施しております。
- 保障の加入にあたり、共済掛金の他に組合員・利用者の皆さまに手数料等にご負担いただいております。

3Q活動（近況確認）（令和7年3月末現在）

3Q活動実施数（人）	あんしんチェック実施数（人）
3,321	1,045

3 利益相反の適切な管理 【原則3本文および（注）】

- 組合員・利用者の皆さまの利益を不当に害することがないように、「利益相反管理方針」に基づき、適切に管理しております。
- 推進部門から独立した「総務部リスク管理課」を設定のうえ、利益相反のおそれのある取引を特定し利益相反を管理しております。
- 以下の観点で利益相反のおそれのある取引を類型化し、効率的に管理することで、遺漏なく利益相反取引を検知する体制を整えています。
 - ①組合員・利用者の皆さまと当組合の間の利益が相反する類型
（例：経済事業を利用する際の前提として、共済事業の利用を条件とする場合）
 - ②特定の組合員・利用者の利益を他の組合員・利用者の皆さまの利益より優先する取引
（例：接待・贈答を受け、または行うことにより、特定の取引先との間で一般的な水準から乖離した水準で取引を行う場合）

※利益相反の記載について

取組方針に記載した内容に対し、どのようなことを実施したかを具体的に記載してください。例えば、利益相反を把握する仕組みやモニタリング方法、該当取引有無等の確認を実施したこと等について記載

4 お客様本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

【原則2本文および（注）、原則6（注5）原則7本文および（注）】

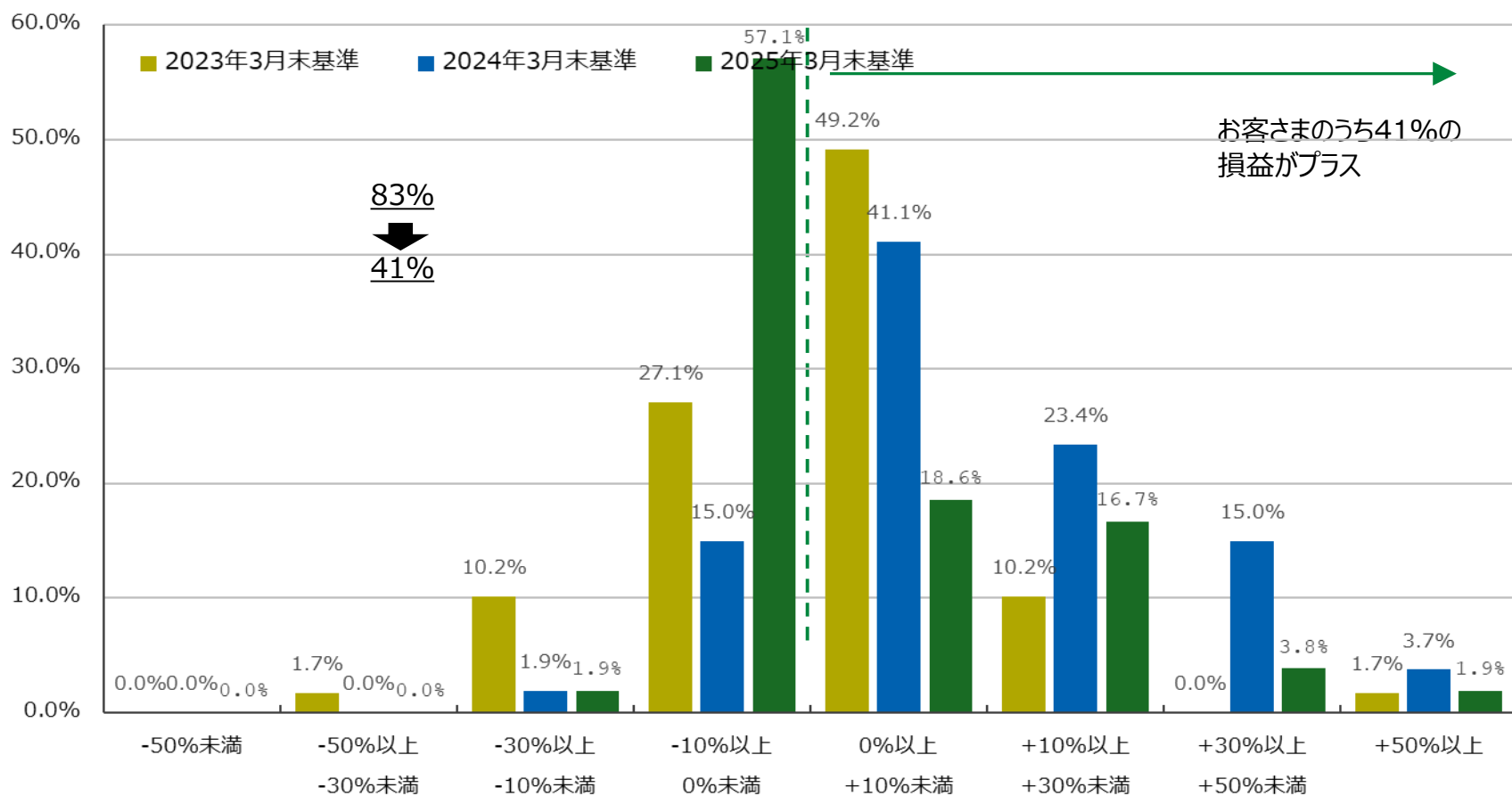
組合員・利用者本位の業務運営を実現するための人材の育成と態勢の構築

- 当組合は、研修による指導や資格取得の推進を通じて高度な専門性を有し誠実・公正な業務を行うことが出来る人材を育成し、お客様本位の業務運営を実現するための態勢を構築しております。
- 当組合は、組合員・利用者からいただいた「声（お問い合わせ・ご相談・ご要望・苦情など）」を定期的に役職員へ周知し、業務改善に活かすように努めています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

1 運用損益別顧客比率（投資信託）

- 「運用損益別顧客比率」は、組合員・利用者の皆様へ長期・分散投資やつみたて投資をご提案してきましたが、3月に米国が新たな関税政策を発表する可能性が報じられたことから、米国株および日経平均株価が下落した影響で、2025年3月末時点では全体の41%のお客さまの損益がプラスとなりました。

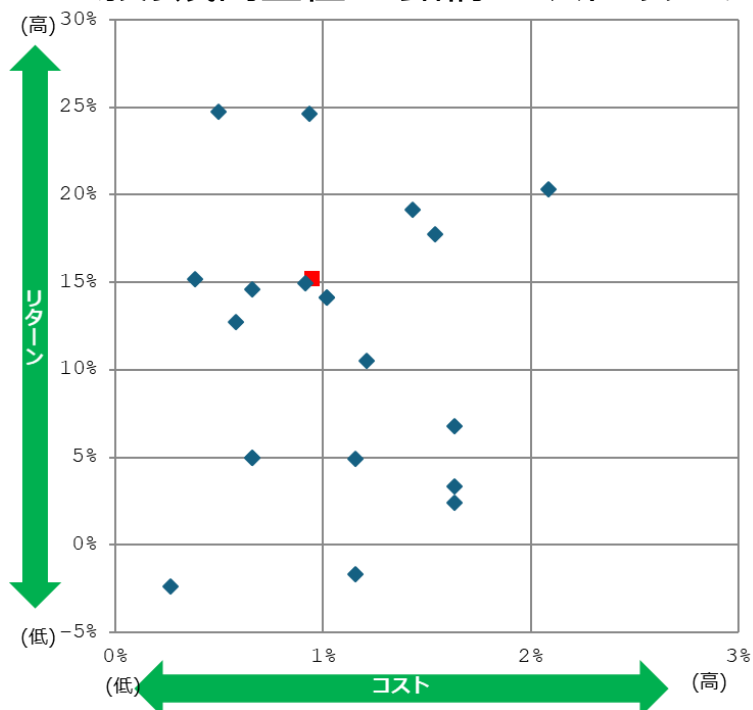


Ⅱ.比較可能な共通 K P I

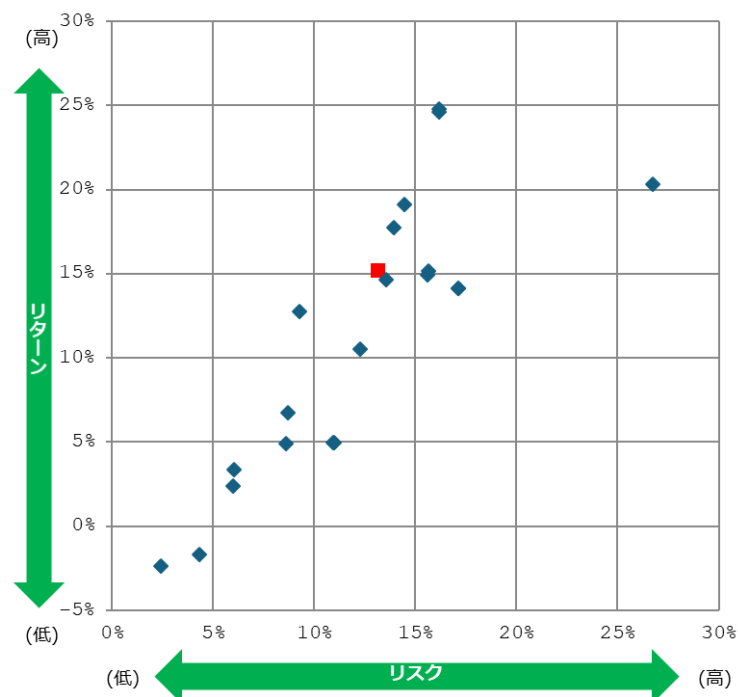
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

- ・ J Aバンクでは、取扱うファンドの運用実績を組合員・利用者本位の業務運営の観点に基づきチェックし、運用実績が優良なファンドを選定しております。
- ・ 2025年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.95%、平均リスク13.16%に対して、平均リターンは15.21%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



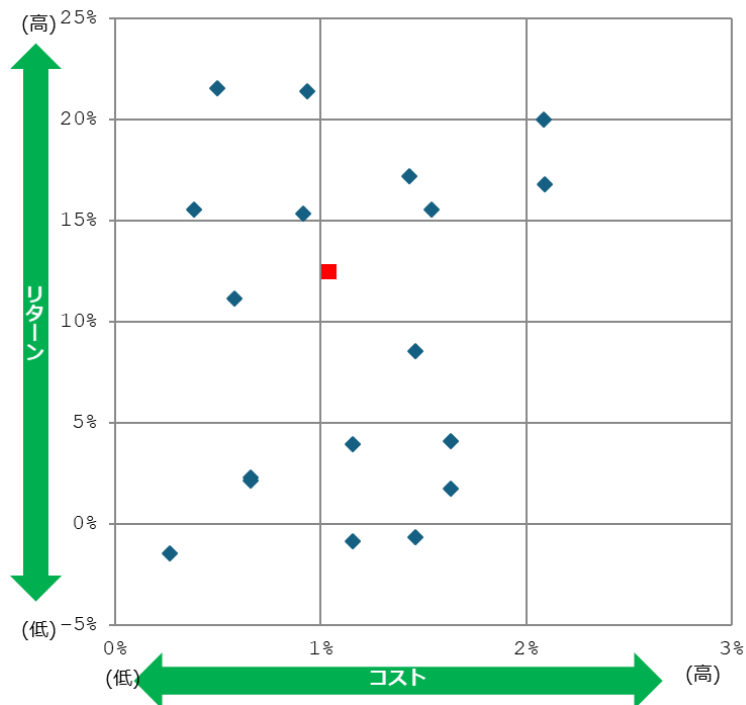
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

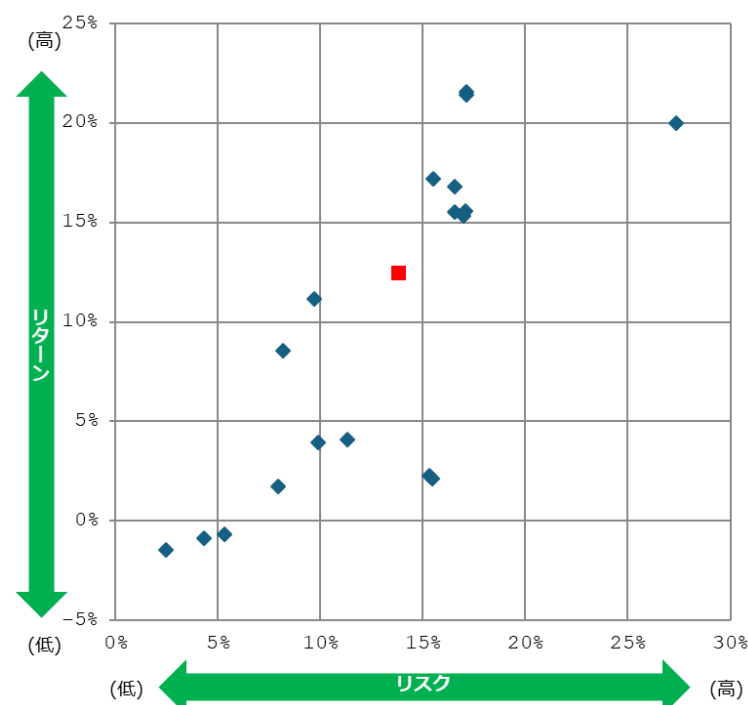
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

- 2024年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト1.04%、平均リスク13.81%に対して、平均リターンは12.46%となりました。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



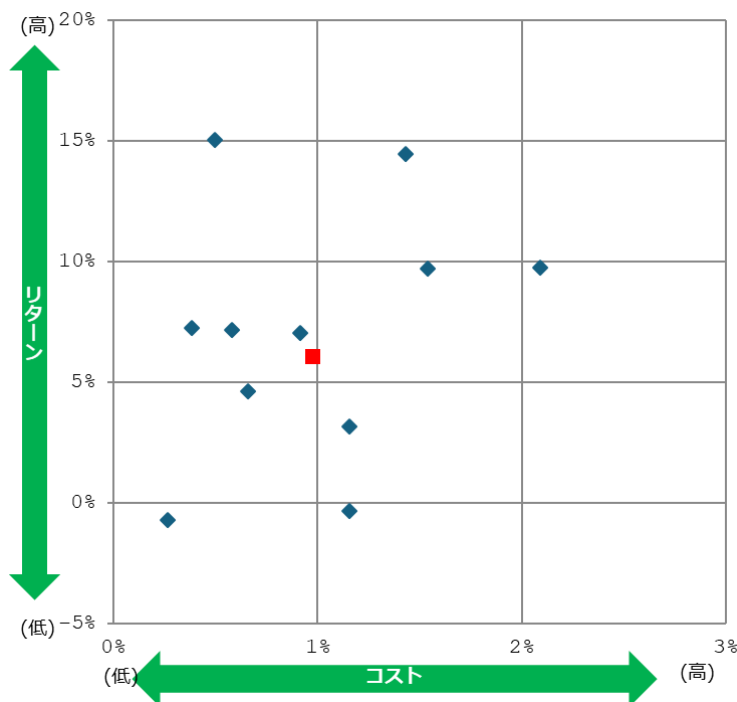
※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

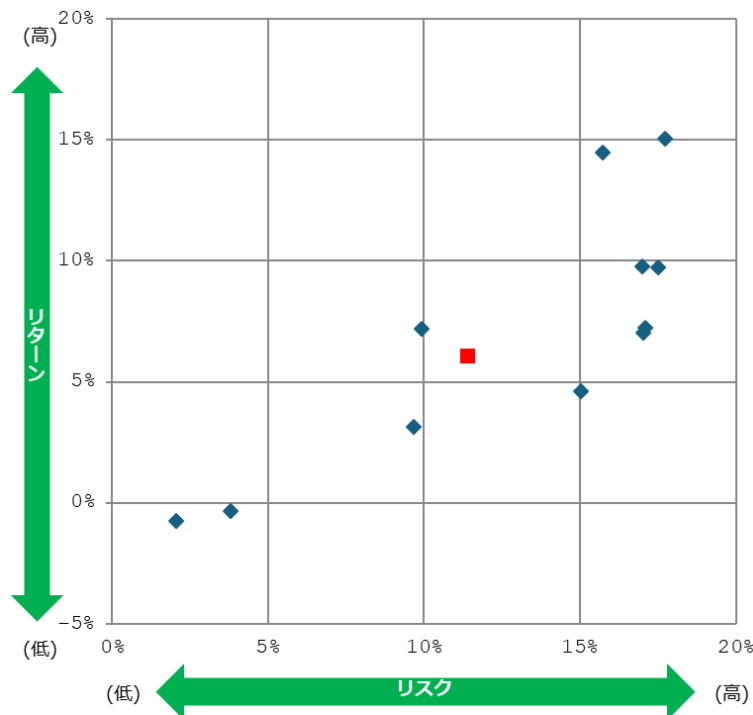
2 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

- 2023年3月末時点の預り残高上位20銘柄の平均コスト0.98%、平均リスク11.39%に対して、平均リターンは6.05%でした。

＜預り残高上位20銘柄のコスト・リターン＞



＜預り残高上位20銘柄のリスク・リターン＞



※ 各ファンドのコスト・リスク・リターンは、次のページに記載しております。
※ 赤い点は平均値を示しています。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（1/3）（2025年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.62%	16.15%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	24.77%	16.16%	0.50%
3	日米6資産分散ファンド(資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.93%	8.59%	1.16%
4	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.96%	15.62%	0.91%
5	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	19.14%	14.48%	1.43%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	12.76%	9.29%	0.58%
7	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.19%	15.67%	0.39%
8	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-2.36%	2.41%	0.26%
9	HSBC世界資産選抜 充実生活コース(定率払出型) 凶生100年時代	HSBCアセットマネジメント(株)	2.42%	5.98%	1.63%
10	日米6資産分散ファンド(安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-1.66%	4.34%	1.16%
11	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント(株)	20.35%	26.74%	2.08%
12	おおぶねグローバル(長期厳選)	農林中金バリューストメンツ(株)	14.63%	13.58%	0.66%
13	HSBC世界資産選抜 収穫コース(予想分配金提示型)	HSBCアセットマネジメント(株)	3.35%	6.05%	1.63%
14	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	17.77%	13.93%	1.54%
15	HSBC世界資産選抜 育てるコース(資産形成型)	HSBCアセットマネジメント(株)	6.76%	8.71%	1.63%
16	グローバル・リート・インデックスファンド(資産形成型)世界のやどか	大和アセットマネジメント(株)	14.15%	17.14%	1.02%
17	おおぶねJAPAN(日本選抜)	農林中金バリューストメンツ(株)	10.52%	12.27%	1.21%
18	J-R E I Tインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	5.00%	10.96%	0.66%
19	グローバル・リート・インデックスファンド(毎月決算型)世界のやどか	大和アセットマネジメント(株)	14.14%	17.14%	1.02%
20	J-R E I Tインデックス(年1回決算型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.99%	10.96%	0.66%
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		15.21%	13.16%	0.95%

※ 2025年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は20本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン（2/3）（2024年3月末）

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	米国株式 S&P500インデックスファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.40%	17.11%	0.94%
2	つみたて米国株式 S & P 5 0 0	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	21.55%	17.11%	0.50%
3	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	17.22%	15.52%	1.43%
4	日米6資産分散ファンド（資産形成コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	3.95%	9.89%	1.16%
5	日米6資産分散ファンド（安定運用コース）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-0.86%	4.33%	1.16%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信（株）	11.15%	9.72%	0.58%
7	HSBC世界資産選抜 収穫コース（予想分配金提示型）	HSBCアセットマネジメント(株)	1.75%	7.95%	1.63%
8	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.34%	17.00%	0.91%
9	ベイリー・ギフォード世界長期成長株ファンド	三菱UFJアセットマネジメント（株）	19.98%	27.37%	2.08%
10	つみたて日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	15.57%	17.06%	0.39%
11	HSBC世界資産選抜 育てるコース（資産形成型）	HSBCアセットマネジメント(株)	4.09%	11.30%	1.63%
12	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信（株）	15.53%	16.54%	1.54%
13	J－REITインデックス（毎月分配型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	2.28%	15.30%	0.66%
14	J A日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	-1.47%	2.46%	0.26%
15	J－REITインデックス（年1回決算型）	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	2.14%	15.44%	0.66%
16	J A海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント（株）	16.82%	16.55%	2.09%
17	グローバル・インカムフルコース（為替ヘッジなし）	三菱UFJアセットマネジメント（株）	8.56%	8.16%	1.46%
18	グローバル・インカムフルコース（為替リスク軽減型）	三菱UFJアセットマネジメント（株）	-0.67%	5.31%	1.46%
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計／残高加重平均値		12.46%	13.81%	1.04%

※ 2024年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は18本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。

Ⅱ.比較可能な共通 K P I

3 投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン (3/3) (2023年3月末)

	ファンド名	運用会社	リターン (年率)	リスク (年率)	コスト 全体
1	日米6資産分散ファンド [※] (資産形成コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	3.16%	9.68%	1.16%
2	日米6資産分散ファンド [※] (安定運用コース)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.34%	3.81%	1.16%
3	つみたてNISA米国株式 S&P500	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	15.05%	17.74%	0.50%
4	長期厳選投資 おおぶね	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	14.48%	15.74%	1.43%
5	農中日経225オープン	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.05%	17.04%	0.91%
6	セゾン・グローバルバランスファンド	セゾン投信(株)	7.18%	9.92%	0.58%
7	JA日本債券ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	-0.72%	2.06%	0.26%
8	J-REITインデックス(毎月分配型)	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	4.62%	15.04%	0.66%
9	つみたてNISA日本株式 日経225	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	7.26%	17.10%	0.39%
10	セゾン資産形成の達人ファンド	セゾン投信(株)	9.73%	17.50%	1.54%
11	JA海外株式ファンド	農林中金全共連アセットマネジメント(株)	9.76%	16.99%	2.09%
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
	残高上位20ファンドの残高合計/残高加重平均値		6.05%	11.39%	0.98%

※ 2023年3月末基準時点における共通 K P I の対象となるファンド数は11本となります。

※ 当指標は、設立から5年が経過したファンドを対象として、リターン・リスク・コストを算出して表示しております。